

# 渴望

谷内純一



昭和十九年、小学校一年生だった私たちは、上級生と一緒に桑の皮剥ぎ作業に出かけました。香宗川のほとりの桑畑でした。戦争末期の物資不足で、衣類の繊維に充てるためだったようです。

七月の炎天下で、あまりの暑さと喉の渇きに堪えかねて、桑畑の下を流れている香宗川に友達と二人で下りて行きました。ひとりの老翁(ろうや)がいて、堰下から湧き出ている水が澄んでいると教えてくれ、三人でその水を飲みました。

畑に帰ると、勝手に持ち場を離れたという理由で、二人は、校長先生に炎天下に立たされた。やがてその場に桶に氷の入った水が届き、みんなはそれをふるまわれましたが、私と友は最後まで飲ませてもらえませんでした。桶には大きな氷塊と水が鈍

色(にびいろ)に光っていました。「ああ飲みたいなあ。」と思いましたが、口には出せずに、願いはかなえられませんでした。あのときほど氷と水を美しいと思ひ、水を飲みたいと渴望したことは生涯ありません。

この経験をときおり思い出しました。幼いころは悪いことをしたという引け目の感情がありました。成長してくると、最後まで水を飲まなかった校長先生に対する怒りの気持ちがわいてきました。成人後、この話を聞いた同級生の女性は、「まあ、いじわるな校長先生ねえ。」とたいそう憤慨しました。

さらに年を取ってきたとき、生涯でこれほどまでに渴望することはなかったと思います。「渴望を美しい」と思うようになり、そして「人は渴望するもの」、そして「渴望する人間をいとおしく思う」というように、思いは変わってゆきました。校長先生に対する怒りはすっかり消え、今はよくぞ水を飲ませてくれたな、かたがとまで思います。マインナスがプラスになったと思える不思議な経験でした。

渴望の 叶へられずに  
過ぎし日々  
念懐かしく 思へる不由論

渴望は 生きめるあかし  
いまさらにも  
人の望みを 美しく思ふ

生きてゐる 人は渴望 する  
古の  
理想の 夢をうやまわ

世界的にベストセラーとなっている「サビエンス全史」において著者ユヴァル・ノア・ハラリは仏教について、こう語っています。

「ブッダは自分の教えをた一つ一つの法則に要約した。苦しみは渴愛から生まれるので、苦しみから完全に解放される唯一の道は渴愛から完全に解放されることで、渴愛から解放される唯一の道は、心を鍛えて現実をあるがままに経験することである、というのがその法則だ。」と。

一方で「仏教徒の99%は涅槃(ねはん)の境地に達しなかった」とも述べています。お釈迦さんが私の文章を見たらどう言うでしょうか。

## 高退協文芸

### 短歌

#### 川柳

#### 帆傘抄

小澤 幸泉

怒ること決して忘れぬ終戦日

古里を「うかり」示す時計台

弾かれて弾き返して笑い合ひ

弾かれて一人泣いてる幼い日

新婚の甘き益々老二人

たしたしとく点字をたしする太い指

手作りのお菓子な(か)し(七)母の味

#### 俳句

#### 花蘇鉄の四季

小澤 幸泉

(七)母さんが今朝も添い寝の春の床

泣きながら故郷遠く初夏の山

天国へつづく山脈五月晴れ

イースター父母兄妹また会える

あじさいが花を咲かせる庭のすみ

#### 今こそ九条

叶岡淑子

ウクライナの子ともら想う日々つづく戦時日本を知る吾がれば

「力には力」の風潮止めよ憲法九条今こそ室

戦争か平和かの岐路見えてくる未来のかかる七月の選挙

#### クリスマスローズの種子

田上悦子

株分けで毎年増えるクリスマスローズ今年は一鉢ご近所さんへ

六粒の種子らしきもの採れたりと三粒をくださったご近所さんが

種を見るは初めてのこの十年私は花に何を見つけた

#### 妹の笑顔

山本晶子

自転車の前と後ろに子と乗せて走りゆく母よかつて吾もまた

「ひめちを今焼いているよ」妹の幸せそうな笑顔に接す

帽子ひいて買の帰る吾に深々と頭下げくれお店の人は

### 第188回高退協読書会案内

8月18日(木) 14時～ ムトー荘2F(206号室) 参加費 600円(会場使用料)  
テキスト 「イノベーションはなぜ途絶えたか」(ちくま新書) 山口 栄一(著)

以下『ウィキペディア(Wikipedia)』より  
内容紹介 かつて「科学立国」として世界を牽引した日本の科学とハイテク産業の凋落が著しい。経済の停滞にとどまらず、原発事故のような社会への大打撃を招きかねないイノベーションの喪失。その原因は企業の基礎研究軽視のみならず、政策的失敗にもあったことをベンチャー支援策に成功した米国との比較から解明する。さらに科学の発見からイノベーションが生まれる原理を明らかにし、日本の科学復興に向けた具体的な処方箋を示す。科学と社会を有機的に結びつける「国家再生の設計図」

山口栄一(やまぐち えいち、1955年～) 物理学者、イノベーション政策学者、京都大学名誉教授。1955年福岡市生まれ。1977年東京大学理学部物理学科卒業。1979年同大学院理学系研究科物理学専攻修士修了、1984年理学博士(東京大学)。専門はイノベーション理論・物性物理学。

※ 参加希望者は直接お越しください。  
お問い合わせは次の方々のいずれかにご連絡ください。 樋口勇雄 高橋泰宏 小島真子 大川法由記



### 2022 高知の観光クロスワード②

1	2	3	4	5
6			7	
		8	9	
10	11		12	13
14		15		
			16	

作成 大鳥克人

#### 【タテのカギ】

- 1 ビタミンボイスといえば…
- 2 後悔〇〇に立たず
- 3 一休さんといえば…
- 4 高知のソウルフード「石蒜」
- 5 土佐清水で出土した片口縄文〇〇
- 9 セキュリティ
- 11 人の夢を食べる生き物
- 13 首都はプラハ
- 15 森林県・高知に欠かせない道具

#### 【ヨコのカギ】

- 1 世界一になった高知のグロリオサ
- 6 病院や介護施設などで欠かせない働き方
- 7 〇〇が甘い
- 8 笑点・林家たい平の出身地
- 10 別名アスナロ。青森が有名
- 12 のび太やジャイアンがよく遊ぶ場所
- 14 レコーディング
- 16 縦のものを〇〇にもしない

かぎを解いて二重枠に入る10文字で、高知の観光地の名前がわかります。  
①解答 ②郵便番号・住所 ③氏名(匿名希望はペンネーム) ④近況かニュースの感想、を書いてメールまたは葉書で送って下さい。締切は8月26日。3名の方に図書カードを進呈。④は紙上で紹介します。なお、ペンネームの方は本名も忘れずにお書き添え下さい。  
① 郵送 〒780-0850 高知市丸ノ内2丁目1-10 高知城ホール高教組気付高退協 ニュース担当係  
② メールで送信 kkoutaikyou@gmail.com

第236号の解答は「カツラハマスイゾクカン」でした。当選者には図書カードを進呈します。当選者「はじめちゃん」 ※当選者コメント 久しぶりのクロスワードパズルです。現役の時はよく解いては送り、図書カードをゲットしていました。尚、作成の大鳥さん、朝倉の官舎でいっしょでした。その大鳥さんも退職なのですね。高退協ニュース、退職の先生、知っている方、いっしょに勤務した方もいます。なつかしいですね。